

たてくるジオパーク だより 第35号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉ info@tatekuro.jp

🌐 https://tatekuro.jp/

📘 https://facebook.com/tatekuro

日本ジオパーク再認定審査を受けました

今年度、立山黒部ジオパークは日本ジオパーク再認定審査を受ける年です。ジオパークは認定審査を受けて、ジオパークネットワークへの加盟が認められることで「ジオパーク」と名乗ることができます。日本ジオパークは日本ジオパークネットワークへの正会員加盟が、ユネスコ世界ジオパークは世界ジオパークネットワークへの加盟が認められる必要があります。また、4年ごとに正会員としてのこれまでの活動と現在の状況を確認する再認定審査を受けなければなりません。再認定審査で活動の進め方などで重大な課題があれば、2年後に再度審査を行う条件付き再認定もしくは正会員ではなくなる認定取り消しとなります。立山黒部ジオパークは2018年に再認定審査を受け、早急に取り組むべき課題が多いということで条件付き再認定となり、2年後の今年、再認定審査を受けることとなりました。

今回の再認定審査では、2年前の審査で指摘された課題に対して、これまでどのような対応をしてきたかを中心に報告しました。9月に報告書一式を審査を行う日本ジオパーク委員会へ提出しました。そして、11月13日～15日にかけて、3名の調査員の方々に富山までお越しいただき、現地調査を受けました。3日間の調査を終えて調査員の方々からは、「各課題に正面から取り組んでおり、活動が全体的に前進している様子を見ることができた」「地域コミュニティにもジオパークへの共通理解が進んでいる」「地域で面白い取り組みができています」など前向きな評価をいただいた一方、「ビジビリティに一定の進展がみられたがまだ工夫が必要」「ガイドさん達の努力は素晴らしいが、もっと伝え方の工夫（練習）が必要」「ジオパークネットワークへ立山黒部ジオパークの面白い取り組みをもっと発信してほしい。また、ほかのジオパークの取り組みで参考になるものはどんどん地域の活動に活用してほしい」などの指摘も受けました。今回の再認定審査を受けて、立山黒部ジオパークの活動を振り返るとともに、強みと弱みを認識することができました。強みはもっと伸ばせるよう、弱み（課題）は解決できるよう工夫をしながら、地域の持続的発展に貢献できるよう活動を進めていきたいと思っております。今回の再認定審査の結果は2021年2月に発表される予定です。



「TKGジオカフェ in くろべ」を開催しました

11月27日（金）に、黒部市勤労青少年ホームにて、今年度2回目の“ジオカフェ”を開催しました。“ジオカフェ”とは、立山黒部ジオパークや会場のお店、当日の話題などに興味のある人が会場のお店に集まり、食事や飲み物を楽しみながら提供された話題や地域のことについて語りあう活動です。

今回の食事は宇奈月温泉「HoLo家」さんのお弁当。梅じゃこのおこわ、無農薬野菜を使ったスパイシーな炒め物等、箸がどんどんすすむとってもおいしいごはん、皆さん「おいしいね」と笑顔ではおぼっていました。

また、今回のゲストスピーカーは黒部市地域おこし協力隊の小澤泰史さん。愛知県碧南市生まれで、福岡やカナダで仕事をしながら、2009年に富山の氷見にぶりを食べに来たのが、富山を知るスタートだったそうです。そして富山の自然と食べ物のすばらしさに惹かれ、2018年に地域おこし協力隊として黒部市へ赴任されました。小澤さんが富山に来て2年半。移住定住促進や地域のイベントのお手伝いなど、地域の行事に積極的に参加する中で、黒部市16地域ごとに違った文化や歴史があり、それがその土地に合ったジオに関係していることに気づいたそうです。炭焼き、各地のお祭り、豊かな清水等、人間が工夫しながら生活を営むことすべてにジオを感じていると話されていました。



今回のお店 ♡ HoLo家

黒部市宇奈月温泉 330-26
TEL:0765-32-3468
営業時間：9:30～18:30
定休日：火曜日

カフェの他、手作りのガラスやフェルトの雑貨の販売、ガラス細工の体験もできる工房です。かわいい小物がいっぱいあるので、宇奈月へお越しの際にはぜひのぞいてみてください。

第8回 JGN 中部ブロック大会が開催されました

11月21日（土）に、第8回 JGN 中部ブロック大会糸魚川大会がオンラインで開催されました。中部ブロック大会とは、中部地方にあるジオパークやジオパークを目指している地域が集まり、情報共有や意見交換、研修などを通して、ジオパーク活動の発展を目指す大会です。今回の大会のテーマは「ジオパーク活動：『コロナ禍』から『ニューノーマル』へ」。ポストコロナ社会のジオパーク活動に向けて、コロナ禍でのジオパーク活動の事例発表や、オンラインでのツアー体験コンテンツの事例発表、ワークショップを通して、コロナ禍でのジオパーク活動の現状と課題を地域間で共有しました。また、記念講演では、まいまい京都代表の以倉敬之さんより、まいまい京都の取り組みや戦略についてのお話を聞きました。まいまい京都とは、京都を愛する住民がガイドする2～3時間のまち歩きミニツアーで、まいまいとは京言葉でうろうろするという意味だそうです。まちの最大の魅力は「ヒト」と考え、知識の押し付けではなく、ガイドさんが好きな「モノ」「コト」に対する愛情の伝播を大切にすることを徹底して、ツアーのファンを増やしていったそうです。しかし、今年4月、5月は新型コロナウイルスの影響により全てのツアーが中止となってしまいました。そこで、リスク回避のため、これまで行ってきたリアルツアーに加え、オンラインツアーをはじめいろいろな取り組みを進めてこられました。その他にも以倉さんからはツアーを企画するにあたって意識すべきポイントなど、今後の立山黒部ジオパークでツアーを企画する際に参考になる話題を、たくさん聞くことができました。



ジオガイドスキルアップ講座を開催しました

ジオガイドの知識向上とジオに関する事象に理解を深めるため、11月18日（水）と28日（土）にジオガイドスキルアップ講座を開催しました。講師は立山黒部ジオパーク協会研究教育部会長の金子一夫先生。18日の座学研修では、地層の見方や考え方、年代測定の方法や測定結果の見方・注意点など、地質学に関する基本的な考え方について講義を受けました。その内容を踏まえて、28日の現地研修で魚津市片貝川沿いの地層を見学しました。28日当日は朝から雨の降る中、バスに乗って片貝の黒谷や平沢を回り、それぞれの露頭に見られる地層や岩石の説明を聞きました。各露頭では釈泉寺層や福平層、太美山層等、各時代の地質の特徴やその成因など、大変分かりやすく丁寧に教えていただきました。皆さんメモを取ったり、他の地域の地層との関連や年代について質問したりと、熱心に参加されていました。金子先生は、同じ地層でも色や質は多様で変化するので、地層の一部を切り取って見るのではなく、大きな層として視ることの大切さをお話しされました。また、時間が過ぎ露頭に植物が生えてなかなか調査が進まないこと、時代や成因を正確に判定できず分からないこともたくさんあるということに、皆さん頷いておられました。途中みぞれの降る寒い日でしたが、元気いっぱい研修を終えることができました。今回のスキルアップ研修で学んだことを今後のガイド活動でぜひ活かしていただきたいです。



日本活断層学会と共催でシンポジウムを開催しました

11月22日（日）13:30から日本活断層学会2020年度秋季学術大会のシンポジウムをオンラインで開催しました。シンポジウムのテーマは「活断層に関連する地形・地質の保護・保全の現状と展望」で、過去の地震活動などを記録する活断層周辺の地形や地質の、保護・保全の状況や活用事例、課題などについて、5名の方々からお話いただきました。富山県立山カルデラ砂防博物館の丹保さんからは、1858年の飛越地震により起こった安政の大災害を伝える博物館の取り組みについてや、跡津川断層真川露頭の現在の状況と課題などについて、熊本県益城町教育委員会の森本さんからは、平成28年熊本地震の際に地表に現れた地表地震断層の保護管理の状況や、活用の展望などについて、フォッサマグナミュージアムの竹之内さんからは、糸魚川-静岡構造線についてや、その断層露頭の保全と野外展示の工夫や苦労などについてお話いただきました。さらに、伊豆半島ジオパーク推進協議会の新名さんからは、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークと山陰海岸ユネスコ世界ジオパークでの活断層の保護保全や、教育やツーリズムへの活用事例について、NHK放送文化研究所の山口さんからは、活断層を変動する大地を語るコンテンツと捉え、現物+デジタルの災害アーカイブとして後世に残していくことの重要性についてお話いただきました。

皆さんの話から、活断層に関する露頭など地球遺産の保護・保全の難しさや、活断層の教育やツーリズムへの活用にはガイドや語り部、記録映像など遺産と人をつなぐコンテンツが重要な役割を持っていることなどを知ることができました。富山県内にもたくさんの活断層があります。活断層を知り、防災や減災に活かすことが未来に向けて求められています。

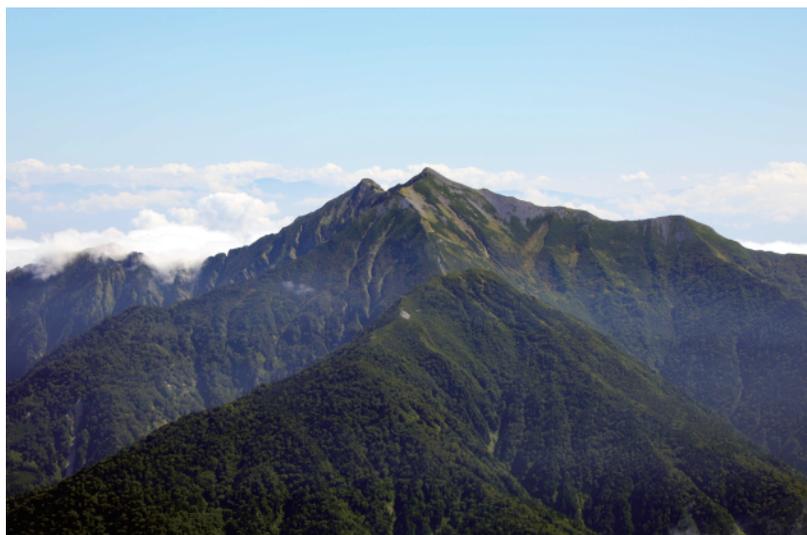


立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



飛騨山脈の急激な隆起を物語る山 ～最高所の黒部川花崗岩～

鹿島槍ヶ岳は富山県と長野県の県境に位置する、南峰（標高 2,889 m）と北峰（標高 2,842 m）の2つの頂をもつ双耳峰です。古くは「後立山」とも呼ばれ、飛騨山脈の後立山連峰を代表する山のひとつです。この鹿島槍ヶ岳の山体の多くは、「黒部川花崗岩」と呼ばれる白黒模様の岩石でできています。花崗岩は、地下 2,000 ～ 3,000 m より深い所でマグマがゆっくり冷え固まってできる岩石です。そのため、地表に現れるには数千万年という長い時間がかかるとされています。しかし、鹿島槍ヶ岳にある黒部川花崗岩は、およそ 200 万年前にできた世界的にも極めて新しい花崗岩です。標高 3,000 m 近い場所に 200 万年前にできた花崗岩があるということは、大地が急激な隆起によって、200 万年の間に数千メートルもの距離を上昇したことを示しています。鹿島槍ヶ岳は飛騨山脈の誕生の歴史を教えてくれているのです。



剣岳山頂から望む鹿島槍ヶ岳

■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介していきます。

いのちをリレーする、
いのちがある。



豊かさを創造 — ハートコミュニケーション —
OARKS
オークス株式会社

富山市中島4-2-14 TEL.(076)441-7711 <http://www.oarks.co.jp/>

夢を誇りに

インフラ・コンストラクション



送電線から、道路、通信などのライフライン。
これからもエフテック・アクセスは
「あたりまえ」な未来を作っていきます。

株式会社 エフテック

電気設備工事・送電線工事・鉄塔組立／一般土木工事
〒939-8153 富山市吉岡627
TEL.076-429-5188 FAX.076-429-4099

株式会社 アクセス

電話通信設備・光ファイバー等通信設備
〒939-8194 富山市南金屋124
TEL.076-428-9215 FAX.076-429-8339

あたりまえを、創る、ささえる。

<http://www.ffa.co.jp/> [エフテック アクセス 富山]



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

